

港南中学校男子卓球部が初の全国大会出場



留萌市立港南中学校男子卓球部
キャプテン 工藤 祐亮君

持てる力を出し切り満足 後輩には連続出場に期待

第45回全国中学校卓球大会が8月22日(金)から25日(月)まで、徳島県の鳴門・大塚スポーツパークアミノバリューホールで開催されました。全国大会初出場の港南中学校男子卓球部が、団体戦に臨みました。同男子卓球部キャプテンの工藤祐亮君(3年)にお話を伺いました。

全国大会出場に対し、市民の皆さんをはじめ多くの企業や団体から、たくさんのご支援をいただき、ありがとうございます。チーム全員感謝しています。

団体戦には、全国から39校が出場しました。予選リーグで埼玉県の小川西中学校と岡山県の京山中学校と対戦しました。試合はいずれも1-4で敗れ、各リーグ1位が決勝トーナメントに進む優秀13校には残ることはできませんでしたが、自分たちの持てる力を出し切り、悔いのない試合ができて満



▲左から鹿内伶音君(1年)、安達朋晶君(1年)、対馬啓斗君(2年)、八幡憂耶君(3年)、斗内将揮君(3年)、尾泉雅也君(3年)、鹿内統音君(3年)、工藤祐亮君(3年)

足しています。全国大会出場を目標に、旭川実業高校や札幌龍谷学園高校との遠征練習試合に臨み、自信をつけ、全道大会準優勝そして念願の全国大会に進むことができました。また、全道、全国大会を通じて、他校の強豪選手と親交を深めることができたことは、かけがえのない貴重な経験です。僕たち3年生は、今回の全国大会出場を最後に引退し、後輩に港南中学校卓球部をバトンタッチ



▲全国大会で激しい攻防を繰り広げた港南中学校男子卓球部

ます。これからもチームワークを大切にして、しっかりと練習に励み、全国大会の連続出場を目指し、決勝リーグ進出、そして、日本一の栄冠に挑んでください。

強いチームワークで結ばれ、初の全国大会に出場した港南中学校男子卓球部。チームの中心となつて活躍した3年生の皆さん、お疲れさまでした。今回の大会では敗れたものの、得るものも多かったのではないだろうか。

先輩たちの想いを引き継ぎ、全国大会連続出場、そして、全国制覇を目指して頑張ってください。

お問い合わせは

留萌市立港南中学校

42-1898

陸上自衛隊第26普通科連隊銃剣道チームが頂点に



陸上自衛隊第26普通科連隊
銃剣道訓練隊教官 遠山 勝郎さん

全国大会2連覇に向けて たゆまぬ努力で臨みたい

第45回全日本青年銃剣道大会が8月7日(木)、東京都の日本武道館で開かれました。陸上自衛隊第26普通科連隊Aチームが青年1部(24歳以下)に出場し、悲願の全国制覇を成し遂げました。チームをまとめ上げ、優勝に導いた同連隊銃剣道訓練隊教官の遠山勝郎さんにお話を伺いました。

銃剣道は、明治初期に日本古来の槍術の心技を基に木銃と呼ばれる棒で競い、「突く」攻撃を中心に極められた競技です。

全日本青年銃剣道大会はトーナメント戦で行われ、青年1部は3人1チームで出場し、1試合3分

間で2本取った選手が勝者となり、先に2勝したチームの勝利となります。

第26普通科連隊Aチームは、強豪がひしめき合うトーナメント戦8試合を勝ち抜き、全国の頂点に立ちました。



▲本番さながらの練習に汗を流す陸上自衛隊第26普通科連隊Aチーム



▲左から村上浩隆さん(大将)、村上泰啓さん(中堅)、工藤太生さん(先鋒)

これは、昭和37年に銃剣道チームが創部して以来の快挙です。私自身、全日本青年銃剣道大会青年2部(20歳以下)に出場した経験がありますが、結果は準優勝と優勝まであと一歩及ばすという成績でした。また、最近では平成22年と25年

に青年2部で3位の成績を残しています。今回の全国制覇は、指導者としてとても嬉しく、選手には優勝候補をはねのけて全国の頂点に立つたことに、自信と誇りを持つてほしいと思います。地域の皆さんの温かい励ましに心から感謝します。

これからまたたゆまぬ努力と不屈の精神で心と技を磨き、「陸上自衛隊第26普通科連隊ここにあり！」をスローガンに、大会2連覇を目指しますので、応援をよろしく願います。

全日本青年銃剣道大会で、全国制覇という快挙を成し遂げた陸上自衛隊第26普通科連隊銃剣道チーム。

これからは全国の強豪から目標とされる存在となりますが、大会2連覇、そして、常勝を目指し、第26普通科連隊の名を全国に轟かせてください。

お問い合わせは

陸上自衛隊留萌駐屯地広報班

42-2655